

ひとの  
ちから

## CLOSE \* UP



とちぎ・しろろ 昭和29年生まれ、桜山町4丁目在住。平成21年からサークル代表。市の健康福祉まつりや図書館まつりなどで朗読のすそ野を広げる活動にも取り組んでいます。

朗読サークルあらお  
代表

### 都知木志郎さん

広報あらおを朗読して録音し、視覚に障害のある人に声で広報を届けているボランティアグループがあります。28年の活動歴を持つ「朗読サークルあらお」です。会員は26人、広報あらお以外にも新聞や雑誌、図書などを朗読して録音したり、病院や児童養護施設での読み聞かせをしたりする活動に積極的に取り組んでいます。

その代表を務めるのが都知木志郎さんです。

「朗読との出会いは偶然だったんです」と話す都知木さん。朗読サークルに入ったのは5年前。体調を崩し、それまでの仕事を離れなくてはならなくなったとき、朗読ボランティアの養成講座に出会ったことがきっかけです。ボランティアに興味があっても踏み出せずにいた都知木さんは、「やってみて合わなかったら辞めようかな、くらいの気軽な気持ちで参加したんです。しかし受講してみたら想像していたよりずっと真剣な講座で、興味が湧きました」

といいます。「朗読」は声に出して読むだけで簡単なことだと思っていたそうですが、「人に聴いてもらうための朗読」には、発声や発音など読むための技術を身につける必要があります。とても奥深いと感じたそうです。上達したい一心で打ち込み、いつの間にか朗読ボランティアに夢中になりました。

「楽しみながら一生懸命やったことで、人が喜んでくれるのが嬉しいんです」という都知木さんは、自分が楽しみながら活動していることが人の役に立つという、ボランティアの喜びを強く感じています。そして「人に楽しんでもらうために、自分の技術を上げたいと思うんです」と話します。人を喜ばせたいという純粋な思いが、技術を磨く原動力なのです。

「これからもさり気なく続けたいです」とほほ笑む都知木さん。気負いのない真摯な姿勢に、支え合いの社会の根底に流れている豊かさや優しさを感じました。